

「お茶フクロウ (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

フクロウは、決して珍しい野鳥ではない。餌となる小型動物(または小型の野鳥)と、営巣できる森さえあれば、国内ではごく普通の鳥だ。



写真は北軽井沢で撮影したフクロウ(メス)である。(2009年撮影)北軽井沢ではフクロウはごく普通に見られる野鳥で、こんなに至近距離でも撮影が可能だ。



ところが11月12日の夕暮れ、文京区のお茶の水女子大学の構内で、フクロウの声を聞いた。小学校の理科準備室からイチョウ並木方向に、何度も聞こえる。最初は何かのスピーカーから流された、録音の音だと思った。しかし写真のA方向(正門側)から聞こえた声が、しばらくしてB方向(講堂側)に移動したので、

間違いなく生きたフクロウの声とわかった。日本にいるフクロウ *Strix uralensis* (フクロウ科) は、「ホウホウ」とは鳴かない。「ホッホー・・・ホロッコホッホー」と鳴く「ゴロスケホッホー」とも聞きなされる。まさしくこの鳴き方だった。私は咄嗟にデジカメの動画機能で録音し、鳥類専門家の時田賢一先生(元我孫子市立鳥の博物館学芸員)に問い合わせた。

さきほど、職場のイチョウ並木で「フクロウ」の声を聞きました。確かに本物。「ホーホー、ゴロスケホッホー」と10回以上鳴いて、聞こえなくなりました。文京区でフクロウの声を聞いたのははじめてです。時田先生、これは珍しいことですか?それとも、結構都内にもフクロウは生息しているのでしょうか?録音した音声ファイルはこちらです。

http://www.kitakaruzawa.net/rika/2018_1112-owl.wav

時田先生は、大変お忙しい方だが、すぐ(数分後)に返信をくださった。

友人で野鳥の音声を集めていて、文化放送の朝の小鳥をやっている松田道生さんにお聞きしてみました。最近では大塚近くでは豊島区の鬼子母神でフクロウの鳴き声を聞いたと言うことです。それと小石川植物園にも生息しているのではと話しております。

鬼子母神でフクロウの声を聞いた専門家のホームページには、以下のような記述があった。

平成30年9月13日午後9時15分ごろ、みみずく公園前を通りかかると秋の虫音に混じって大イチョウ上の方から「ホーッホーッ」という子供の頃に聞いたことのある?の鳴き声が耳に入りました。「まさか!」疑いつつさらに耳を立てると暗闇に怖さすら含んだ「ホーッホーッ」がはっきりと聞こえるではありませんか!(中略)多分、雑司ヶ谷でのこの種の鳥の見聞きは「多くをフクロウによるもの」とも思えてきました。雑司が谷に「フウロウ」・・・なんと風情のある話ではありませんか。

これは面白いことになってきた。とりあえず「**お茶フクロウ**」と呼んでおこう。自分の職場のお茶の水女子大学で「フクロウの声が聞ける」となったら、最高だ。子どもたちや地域の方と、夜間に「**お茶フクロウの声を聞く会**」なんて催しもできるだろう。もう少し注意深く観察してみたい。